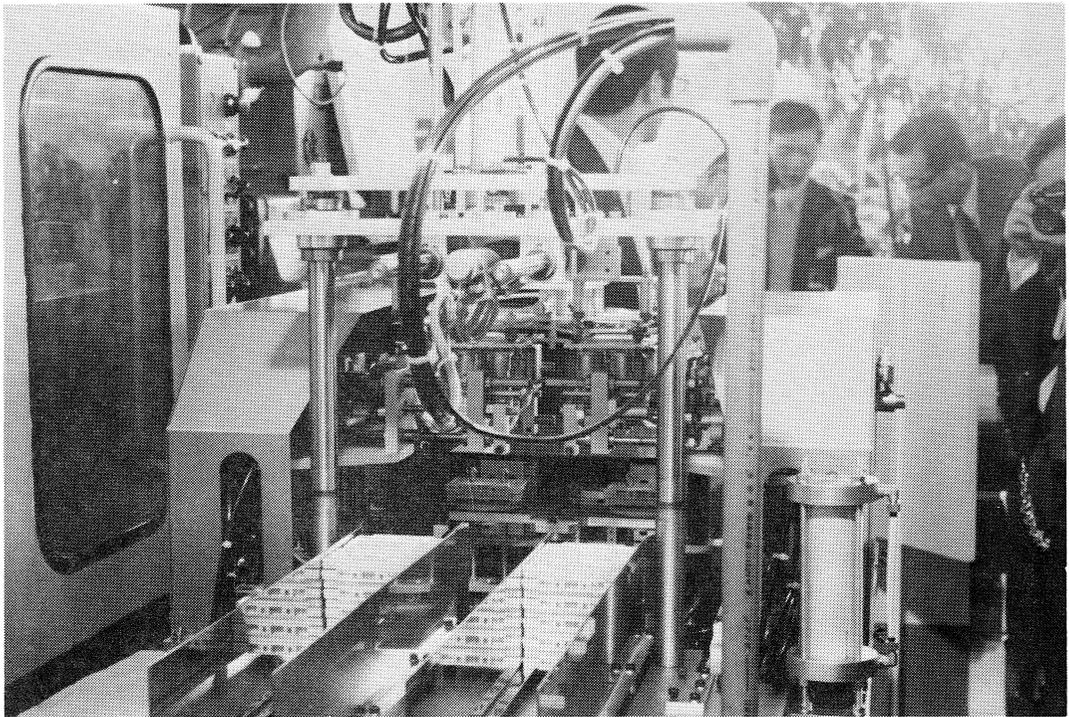


# 岐阜県の プラスチック

業界のアンケート調査まとまる

1977 2月号



## 自動化進む成形機

機器メーカーも開発に意欲

プラスチックの成形作業はあいつぐ原料樹脂の高騰と人件費高騰から、成形作業の自動化が盛んに行なわれている。すでに関連機器メーカーでは、この動きに即応し、原料供給から取り出し、さらには組み立てにいたるまで完全自動化をはかった各種の機器を開発、市販している

ほどである。昨年の10月末に大阪で開かれたジャパンプラスでも、原料の供給、混合を無人で行なうローダーやホッパー、作業面積の少ない横走行タイプの成形品自動取出機、成形品を取り出して簡単な組み立てを行なう装置、成形品の自動箱詰機など数多く出品され、なお開発意欲は活発である。同時にユーザーの成形メーカーも合理化、省力化をはかる直接手段として、関心は深いものがある。

(写真は成形品の自動組立装置)

# 10%増の570万4千トン

## 51年のプラスチック材料生産量

### ピークの49年に比べ15%減

日本プラスチック工業連盟は、このほど「51年のわが国プラスチック材料生産量」をまとめた。それによると、昨年1年間のわが国プラスチック材料の生産量は、570万4千トンで、前年に比べ10%増にとどまった。いままでプラスチックが一番多く生産された49年に比べると、まだ85.2%にとどまっており、好調時の水準にはほど遠いものがある。

#### 回復が少し遅い熱可塑性樹脂

樹脂別にみると、かなり変化が出てきている。まず、熱硬化性樹脂であるが、需要構造的にみて電気機器、自動車など機械産業（絶縁材料、クッション材）の活発化などで、メラミン樹脂を除いたすべての合計量でみた平均伸び率を上回っている。

熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂の生産量は、次ぎのようになっている。（単位千トン、%）

年次	熱可塑性樹脂		熱硬化性樹脂	
49年	5,406	100.0	1,286	100.0
50年	4,016	74.3	1,151	89.5
51年	4,327	80.0	1,377	107.1

このように熱可塑性樹脂は熱硬化性樹脂に比べて回復が少し遅れている。また、汎用プラスチック材料の中心的役割を果たす低密度ポリエチレンと塩化ビニール樹脂の2種が前年の生産量を下回り、これが大きな原因となっている。

機械産業向けに需要ウエートが多いポリアミ

ド、それに、その他熱可塑性樹脂の中に入っているポリカーボネート、ポリアセタール、汎用プラスチックの中でもポリプロピレン、ABS樹脂などの伸び率が高くなっている。

わが国プラスチック材料生産量

(単位：t)

種 類	昭和50年	昭和51年 (一部推定)	51/50 (%)
フェノール樹脂	195,603	250,000	127.8
ユリア樹脂	486,132	566,000	116.4
メラミン樹脂	87,276	92,000	105.4
不飽和ポリエステル樹脂	120,418	145,000	120.4
アルキド樹脂	96,896	116,000	119.7
エポキシ樹脂	28,126	40,000	142.2
けい素樹脂	14,915	23,000	152.2
ウレタンフォーム	121,715	145,000	119.1
熱硬化性樹脂小計	1,151,081	1,377,000	119.6
ポリエチレン (計)	1,294,529	1,330,000	102.7
低密度	940,375	910,000	96.8
高密度	354,154	420,000	118.6
ポリスチレン (計)	689,925	860,000	124.7
GP, HI	378,640	450,000	118.8
F S	96,344	110,000	114.2
A S	50,016	60,000	120.0
A B S	164,925	240,000	145.5
ポリプロピレン	594,482	677,000	113.9
ポリブテン	16,375	23,000	140.5
石油樹脂	40,461	60,000	148.3
メタクリル樹脂	60,182	80,000	132.9
塩化ビニール樹脂	1,125,401	1,040,000	92.4
ポリビニールアルコール	82,425	100,000	121.3
塩化ビニリデン樹脂	26,742	30,000	112.2
ポリアミド	31,470	45,000	143.0
ふっ素樹脂	1,171	2,000	170.8
その他熱可塑性樹脂	53,203	80,000	150.4
熱可塑性樹脂小計	4,016,366	4,327,000	107.7
合 計	5,167,447	5,704,000	110.4

52年の課題は業

界の安定以外にはなく、さらに安定成長への軌道に乗り、確固たる再出発の基盤づくりが必要と考えられる。とくにプラスチック業界は引き続き原料高、製品安の谷間にあえぐ厳しい立場にあり、しかも、製品の安

石油危機後の価格推移

時 期	事 項	ナフサ	オレフィン		ポリオレフィン(円/kg)		
		(千円/kl) 国 産	エチレ ン	プロピ レン	LDPE	HDPE	PP
48年/10月	石油危機直前	8	35	21	115	130	115
48/12	第1ラウンド値上げ	12	55	38	165	180	170
49/2	強制値下げ	12	55	38	151~155	167	155
/3	第2ラウンド値上げ	20	55	38	↓凍	↓凍	↓凍
/4	オレフィン価格改訂	20	72~75	48~51	↓結	↓結	↓結
/10	第3ラウンド値上げ	25	85~87	62~64	165~175	185~190	177
50/春	〃 価格改訂	25	85~87	62~64	180	190~200	200
/10	参考価格発表ナフサ28.3	26.3	〃	〃	170以下	165以下	177以下
/12	標準価格発表ナフサ29.7	26.5	90~92	66~68	190~200	190~200	200
51/1		26.7	〃	〃			
/2	ナフサの段階的アップ	27.8	95~97	71~73	↓	↓	↓
/4	妥結	29	(99~101)	(75~77)	210~220	200	220
/5		↓	↓	↓	↓	220	↓

(出所) 興銀調査, 183 (1976, No.3)

全性確保、公害防止設備投資、廃プラスチック処理などと大きな問題が山積している。

このような業界を取り巻く環境の中で、52年の生産見通しは非常に苦しいものがあり、プラスチック業界あげて最善の努力をばらい「好調時の水準(49年)まで回復するのは無理としても、少しでもそれに近づきたい」とするのが関係者の声である。

ナフサ、オレフィンの市況動向

石油危機後のナフサ、オレフィン、ポリオレフィンの市況動向(上の表)がまとまった。

石油危機後数次にわたるナフサの値上げにオレフィンは敏速に対応したのに対し、樹脂は大幅に遅れたものとなった。ナフサ1キロリットル当たり2万円に見合う価格修正は半年遅れ、さらに2万5千円に見合う価格修正は1年もの遅れとなって、固定費負担の増大とあわせてレジメーカーの経営を大きく圧迫した。

51年に入って2回にわたる価格修正がはかられ、現在のナフサ価格2万9千円に対応した高圧法ポリエチレンの値上げは8~9月にかけて実施された。

51年の石化製品生産まとまる

石油化学工業協会は51年の石油化学製品の生産実績(推定)をまとめた。

それによるとエチレンは376万4,100トンで前年に比べ10.7%増加したものの49年の417万トンには遠くおおよぼ、大幅に減産した。金額では価格修正が進行したこともあって、前年比25.7%増の3兆451億7,800万円と3兆円の大台に乗せた。

各誘導品は2塩化エチレンの生産が前年を下回っただけで、軒並み増加した。とくに増加がめだつのはポリエチレングリコール、ABS樹脂、アセトン、アルキルフェノール、石油樹脂、エポキシ樹脂、オルソキシレンなど。また、50、51年の不況期に連続して顕著な需要増をみせたのはアクリル酸エステル、アルキルフェノール、ポリプロピレングリコール、ポリエチレングリコール、AS樹脂などである。

なお、生産量の多い品目のうち主な前年比伸び率をみると、プロピレン13.1%増、ベンゼン18.2%増、二塩化エチレン5.7%減、ポリエチレン5.3%増など。

## プラスチック業の アンケート調査

# 小規模ほど健全に推移

岐阜県の中小企業総合指導室は、昨年夏に当工業組合さん下の組合員107企業を対象にアンケート調査を実施、結果をまとめた。調査回答した組合員は44企業、回収率は41・1%だったが、岐阜県におけるプラスチック業界の実態をよく知ることができる。

### 欠損少ない11～20人の規模

#### 〈従業員の規模別財務分析結果〉

最近期の収益動向をみると、11～20人の規模では総資本対営業利益率は8・5%、また、売上高対営業利益率は4・9%になっているが、それ以外の規模はいずれも欠損となっている。集計企業数に差はあるが、11～20人規模では8企業中2企業が欠損を出したが黒字企業の割合が高く、それ以外の規模では欠損企業が多い。

健全性の動向をみると、総資本対自己資本比率、売上高対支払利息比率に象徴されるとおり規模が小さいほど良好である。過去3期の動向は、10人以下の規模では良好に推移している反面、51人以上の規模では悪化の傾向。

生産性の動向は、従業員1人当たりの月間加工高では11～20人の規模で55万1,800円

と、それ以外の規模に比べて約20万円ほど高くなっている。その反面、従業員1人当たりの月間人件費は若干高くなっているものの大差がないので、加工高対人件費比率は30・9%と極めて良好になっている。

### 健全性が高い電気部品製造

#### 〈主要製品別の財務分析結果〉

最近期の収益性動向からみると、電気部品製造業者の総資本対営業利益率は11・3%、また売上高対営業利益率6・6%となっているが、それ以外では欠損またはそれに近い状況になっている。集計企業数に差はあるが、やはり電気部品製造業者では4企業中1企業が欠損を出したが、それ以外の製品を製造している企業では欠損企業の割合が50%以上になっている。

健全性の動向では、総資本対自己資本比率で電気部品製造42・9%と高いのに対し、工業部品製造では8・9%と非常に低い状況。

機械投資効率は、工業部品製造を除いてほぼ4～5回転で安定しているが、工業部品製造では3・9回、2・2回、1・9回と過去3期とも低下傾向を示している。

— 段ボール・製造・販売 各種包装資材 —



## 東海包装株式会社

本社・工場 岐阜県本巣郡穂積町野白新田21

〒501-02 ☎ 05846-3-1155 (代表)

## 水害から立ち直る

大永工業・被災から5カ月

昨年の9・12豪雨で、組合員の工場は多数被災を受けました。当時、組合の大松理事長ら組合の代表は、被災工場を訪問、お見舞を申し上げましたが、それいらい約5カ月、被災工場のほとんどは復旧、稼働開始にこぎつけています。その水害から立ち直った一例として、岐阜市黒野にある大永工業（従業員14人、資本金500万円）を訪ねてみました。

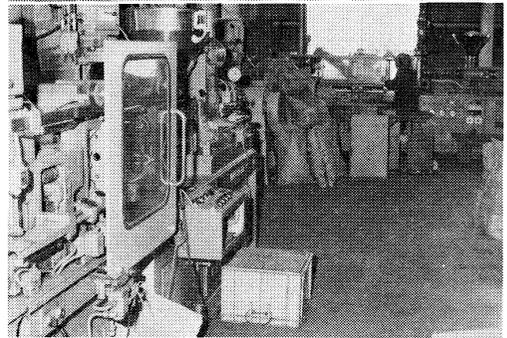
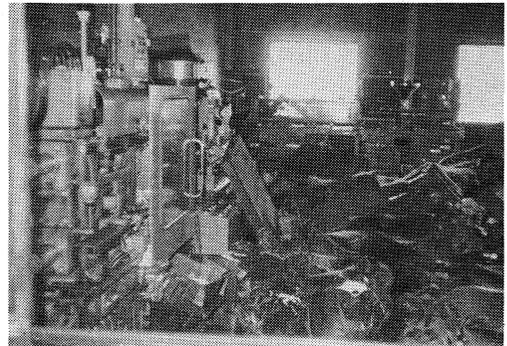
同社は昭和89年に創業、現在の工場用地に本格的な射出成形工場を完成したのは46年の3月。製品の9割は家具用の「取手」で、残るは「自動車部品」など。取手はデザイン、塗装などオリジナルな部分が多く多種少量生産品であるが、その付加価値は高いという。

### 水が引いた跡は泥水と油の山

工場のある地域は伊自良川、戸羽川、板屋川の合流点で、この3河川が集中豪雨によって揃ってはらんした。工場を襲った濁水は、最高床上2メートルに達し、成形機をはじめとする機械、原材料、製品のすべてが水没した。

社長の北岡寛さんは、当時をふりかえって「軒下まで濁水に浸った工場内は、惨たんたるものでした。4日目に水が引いた跡は水と油と泥、それに包装の破れた原料樹脂が一面に散乱（写真上）し、これが長年、丹精を込めて築き上げた工場かと思うと気が遠くなりました」と話す。成形機、乾燥機、ミキサー、粉碎機などの施設や原材料、製品の損害額は、建物関係を除いても2,000万円にものぼった。

幸い成形機械が補修すれば稼働する見通しがついたのと、知人や家族、それに従業員から励



まされ、北岡さんは再起を決意した。それいらい40日間、工場は全員が修復に明け暮れたという。

### 災害融資800万円を受ける

10月末に入ると、努力の甲斐あって泥と油と水であふれた工場内は元の姿にもどり（写真下）射出成形機は順次、再稼働し始めた。そして頼みの綱であった災害復旧資金も、プラスチック工業組合の被害証明と岐阜市の被災証明をえて、岐阜県から豪雨災害復旧特別融資として、総額800万円を受けることができ、すっかり立ち直るメドがついた。

被災後5カ月、北岡さんは「一時は再起できないかと思った。予想以上に立ち直りが早かったのは、皆さんの激励と、手形を割引いておらず経営にゆとりがあり、また、工賃仕事をせず、自主的な製品を生産、操業ストップの間も営業活動ができたからです」と述懐している。

## 全国業界のニュース

### 全国の技能検定合格者決まる

今年度の全国におけるプラスチック成形技能検定結果がまとまった。

昨年8月に実技試験、10月に学科試験が実施されたもので、実技、学科ともに合格した人は圧縮成形で1級6人(合格率16・2%)2級27人(同45・0%)また射出成形は1級30人(同17・3%)2級409人(同41・1%)であった。

これによってプラスチック成形技能士(学科、実技ともに合格した人)は、検定がはじまってから9年間に圧縮成形で1級71人、2級649人、射出成形では1級181人、2級2,903人の総合計で3,804人となった。この9年間に全国で9,917人が受験しており、その合格率は平均38・4%で、検定はかなりむつかしいともいえる。

### 米国の加工業者は約8千企業

海外主要国のプラスチック加工業についての企業数、従業員数実態調査がまとまった。

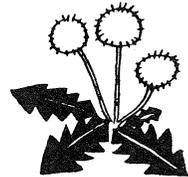
それによるとアメリカのプラスチック加工業者は約8千、従業員数は約350,000人と他国を大幅に上回っている。西ドイツは2,968社、194,900人、イタリア3,000社、100,000人、フ

ランス1,300社、85,700人、イギリス1,550社、115,000人、スペイン1,938社、50,800人、カナダ1,430社、45,000人、スイス1,027社、15,000人、韓国836社、69,200人など。なお、わが国は9,497社、111,900人。

### 衛星回収法はタンポポがヒント 雑学事典

タンポポをフランスでは「ピッサンリ」という。これは“寝台におしっこをする”という意味で、タンポポの葉をゆでた湯が利尿剤に使われたからである。タンポポというと、関東の人は黄色い花を連想するが、西に行くほどシロタンポポが多くなり、九州ではタンポポは白い花というのが常識である。

風で飛ぶ綿毛の行き先に運命的なものを感じるの東も西も同じで、イギリスでは吉凶をとらえながら綿毛を吹き、最後の一つが残ったときの言葉で吉凶を占う。北欧では一息で吹き飛ばせたらその年のうちにドレスを新調してもらえるという。アメリカではこの綿毛の飛行から、人工衛星の回収に毛状物体を使うことを考へついた。企業経営のヒントもこんなところに…。



## 秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7  
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)  
TEL <052> 582-5071



今こそ特許ビジネスを  
充実せよ

## 企業を 伸ばす特許

『研究開発活動により、進歩をねらう企業経営者は、そのもっとも

も重要な責任のなかに特許管理を加える義務がある。いかなる研究プロジェクトも良好な特許管理により国内外に特許保護が確立され、潜在的産業海賊を屈伏させるまでは成功し、完了したとはいえない。

成長する会社のノウハウと特許権は会社のもっとも重要な資産であるから、経営者はこれを適切に管理し、自己防衛と企業競争の具として活用すべきだ』。以上は米国の巨大企業アライド・ケミカル社長のコナー氏（元商務長官）の有名なことばで、なぜ特許は企業を伸ばすのか、もっと深く解説してみよう。

### 特許権は法律が守ってくれる

特許権は独占権である。特許法の第68条には次のように明記してある。

「特許権者は業として特許発明の実施をする権利を専有する」とあり、法律ではっきりと独

占できることを保証しているわけ。他にこんなにはっきりと独占を保証した法律はまずない。これが特許権のもつ最大の魅力なのであり、企業成長の原動力になる。独占禁止法でも特許権の独占力は、独占禁止の考えから除外されている。第23条で次のように規定している。

「この法律の規定は、著作権法、特許法、実用新案法、意匠法、また商標法による権利の行使と認められる行為にはこれを適用しない」

自由競争社会の中にあつて、企業はお互いに競争をし、それに打ち勝ちながら成長していく。そうならば競争相手企業に打ち勝つためのファクター、因子は何だろうか。この因子はきわめて種類が多い。人材、組織力、販売力、資金力、信用、技術力…。しかしこのなかでも将来に対しての成長していくための材料となれば技術、とりわけ技術開発力といわなければならない。

### 新商品は特許で保護される

競争相手企業の作っていない商品、作ることのできない商品を開発していくことが、やはり最大の力であるというべきだろう。しかし、この技術開発力も特許により守らなければ本来の意味をもたない。技術開発により、新発明を生み、新商品に具現化する。そしてこの新商品は特許権により保護されているのです。

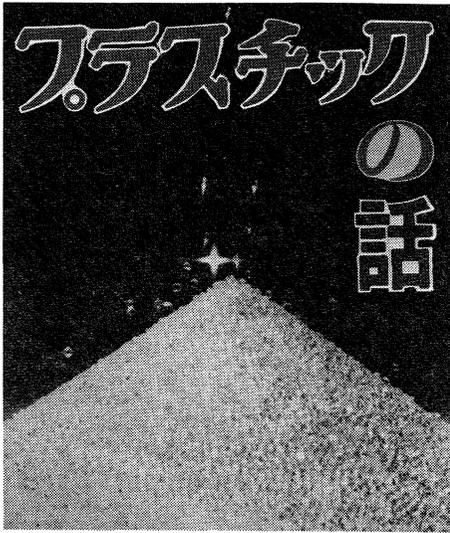
TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区笹島町1-221-2(豊田ビル3F)

化工機課 TEL <052> 561-8341



有害な物質は一切含まれない

＜プラスチック製品は法律で定められています＞

現代は試験の時代です。その試験につきものがカンニング。試験の歴史が始まるのと同時にカンニングの歴史も始まったといえます。プラスチックの試験はカンニングは許されません。

プラスチックの製品には袋や注射器、カプセル、化粧品の容器などと食品、薬のように肌や口に直接ふれるものが多いので、食品衛生法や薬事法などによって品質が厳しく監視されています。したがってカドミウムやPCBはもちろん、一切の有害な物質は含まれていません。

市販の製品は法律だけでなく、各業界の自主規制により、厳しく品質管理を行なっていることを忘れてはなりません。

熱湯注ぐ容器は十分試験済み

＜スナックめん（カップめん）の容器は安全でしょうか＞

「ばく食べる人」「わたし作る人」という即

席ラーメンのコマーシャルが、男女の役割りを固定化するものだとして婦人団体から非難されましたが、「ばく作って食べる人」という孤独な人達には、カップ入りラーメンが大モテのようです。

このカップ入りラーメンの容器は発泡スチロール製とスチロール樹脂カップを内側に使用したものとがあります。熱湯を注ぐものですから耐熱性および衛生性については十分に試験を繰り返して安全性が確認されています。

ただ、発泡スチロール製のは、臭気を発生する可能性があるため、使用する人に不快な感じを与えないように一般の発泡スチロールと区別して、特別な材料が使われています。

お酒の長期保存だけはやめて

＜プラスチック容器にお酒を入れても大丈夫でしょうか＞

冬は鍋ものをつつきながら日本酒というのはお酒の好きな人にとってはこたえられないものです。ところがいちいち一升びんからお酒をつぐのも面倒だということで、冬にはあまり使うことのない、プラスチックの冷水筒にお酒を分けておく家庭があります。これは確かに便利なのですが、あまりおすすめできません。

自動販売機で売られている「ワンカップ〇〇」などがいまだにガラスのカップに入っているのも理由があるからです。酒をのむ時にプラスチックのコップを使用するのは大丈夫ですが、プラスチック容器は長期間のお酒の保存には向きません。お酒の生命でもある味や香りが変化してしまうからです。

酒屋で販売している塩化ビニール樹脂の容器に入ったお酒も長期保存しないことをおすすめします。

# 新年に思う

## 杉山日出雄



今年も輝かしい昭和52年の新春を迎えた。例年になく白雪の舞う寒い正月であったが、人生の一年一年の区切りとして心新たに希望

に満ちた新年を祝うことができた。

しかしながら保革伯仲の中に幕明けした政治の混乱、ロッキード疑獄事件や各種の汚職事件続出にみられるような道義の退廃に加え、オイルショックいらいの安定成長ならぬ低成長時代に突入した経済界は、大小を問わず大変むずかしい年であることには間違いなさそうである。とくにプラスチック業界においては、ことしもまたオパックの値上げによる原材料の値上げが何らかの形で、いつかの時期にわれわれの頭上に転化されてくるのは時間の問題である。

電気料金、輸送運賃、通信費、人件費等々値上がり材料山積の背景の中であって製品の価格アップは絶望的であり、この厳しい環境下であって、われわれ中小企業は如何に対処すべきか新年に当たり各経営者は、本年の経営方針なり経営戦略について苦慮しておられることとされます。ご多聞にもれず、私もその一人ではありますが、今年も「春三月ともなれば…」とか「後半期になれば景気も良くなるだろう」という声がさきやかれますが、50年も51年もそうであったように今年も淡い夢に終わるのではないかと思われてならない。

ところが世界経済の中の日本、そして現政治

経済下における日本企業の環境、その中にあって自社の位置、実態、そして将来を冷静に分析思考する時、悲観、落胆するばかりでは芸がなさすぎるように思われます。

人件費も運賃も原材料も、自社のみ値上がりするのではなく、現に1億1千万人の人々が生活しているのであるから、作り出す製品も品質良好で生活に必要なものであれば、必ず相当数量は売れていくであろう。とくに日本製品はすべてが世界製品のトップクラスに評価され、そんなに取越し苦労しなくてもよいではないか。

人間も会社も国家も、人が生活している以上走っても勉強しても仕事をして、これすべてが競争であり、速い者が勝ち、智恵のある者が先に栄冠を手にするのは世の中の道理である。その点、経営者も従業員もここ10年間余り、高度成長にあまじて決意と努力と信念の心構えが足りなかったのではないか。戦争であれば、弾丸に当たれば死に至るのであるが、商売も経済戦争をしていると思う時、切るか切られるかの真剣勝負の厳しさが欠けていたのではないかと反省させられるのであります。

しかし、毎日が真剣勝負の連続では、命が幾つあったっても足りなくなってしまい、せつかくの人生も仕事の犠牲になっては、無味乾燥で情緒に欠けてつまらない一生になりそうです。

そこで私は、厳しい仕事の余暇に趣味を楽しみたいと思っています。即ち20年来励んできたゴルフのハンディ10の実力の裏打ちをしたとか、日本舞踊にいま一歩磨きをかけたいとか、囲碁も免許に恥じない実力にと、あらゆる面に目標を立てて努力を重ねて実績を礎きつつあります。今年も第一に仕事を、その半面で趣味にも生きがいを感じつつ、二度と再びこない人生を悔いなく送りたいと人生計画を立てているしだいでありませう。（パール紙業代表取締役）

## PRしない企業づくり



杉山日出雄代表

### パール紙業の 本社工場を訪問

組合員の工場拝見第9回は、監事・杉山日出雄さんが経営するパール紙業（資本金1,000万円、従業員30人）を訪問した。同社は岐阜市下川手の本社工場と山県郡高富町にある高富工場をもち、両工場ともポリスチレン・ペーパー（P・S・P）の真空成形加工が主体。本社工場は電気機器や自動車用の断熱ケース類と菓子の内装ケース、また、高富工場は量産ものの食品用トレーパックが主力製品である。

### P S P の真珠の光沢が社名に

パール紙業の創業は昭和37年8月。当初は資本金300万円、本社工場のある下川手に約300平方メートルの工場を建設、新製品として登場したP・S・Pの新局面開発をねらったスタートであった。P・S・Pは真珠の光沢をもち、柔軟さと保温力は抜群で、衛生的。さらに紙のように油や水がしみ込まず、安価で長所の数多い材料で、開発当時「夢の紙」ともいわれた。

パール紙業の名称はこの色調からはじまったわけで、杉山さんはこの新材料の用途開発を思いついて事業を開始した。始めの製品は、折り箱の代用や食品用の受皿であったが、近年は多用化し、同時に生産技術の向上から工業部品や内装ケースなど幅は無限に広まっている。

### 本社工場の増改築を計画推進

工場規模も順次大きくなり、42年に本社に

第2工場をつくり、48年には倍増し、現在の規模となった。また、49年には高富町に大型真空成形ラインを入れ、量産開始した。市場は名古屋を中心に北陸、東海、大阪であるが、輸送コストの合理化から49年には名古屋市に専属下請工場、51年には金沢市にも設けた。

ことは岐阜市に系列の下請工場をつくり、受注消化に当たるといふ。また創立15周年に当たるので、本社工場の増改築に着手する計画。

杉山さんが経営に当たって終始力を入れてきたのは「売りに行かねばならないものは生産しない」ことで、それには他の企業がつくらないものをつくり、他の企業より良い商品をつくることだという。その証拠に従業員30人の会社でありながら営業マンはただ一人。宣伝しなくても、売り込まなくても、その商品を使った人が宣伝してくれ、買いに来てくれるという。

### 経営者は頭の切り替えが大切

結果的にはコスト高にならないので売り易く、北陸など遠方へ商談に行くと1回で1年分の受注契約ができるそうだ。この中部地方には同業のP・S・P加工メーカーは10社あり、杉山さんはその協会長をしている。全国ではアウトサイダーを含めて約100社あり、近年は過当競争気味で「将来、企業が生き残るには、経営者の頭の切り替えが何より大切である」とも話している。（写真は本社の真空成形工場）





#### □地区大会について□

当工業組合ではさる1月に開いた役員会で「地区別大会」（仮称）を開く方針を決めました。プラスチック業界の発展と組合員の結束をはかるもので、実施区域は岐阜、大垣、各務原、関美濃の四地区を予定しております。地区別大会の運営は、それぞれ地域

組合員に一任され、理事長は組合代表として出席します。また、来賓としては県、市関係者を予定しています。

#### □技能短期講習会の開催□

当工業組合と岐阜プラスチック工業は、職業訓練法にもとづく技能補習再訓練として「技能短期講習会」を開催します。組合ではこんご各地区ごと、または希望企業を主体にこの講習会を普及して行く方針ですから、会員企業のご協力をお願いいたします。

組合員の皆さんにはすでにご案内しましたように、第1回は2月24・25日の2日間、岐阜プラスチック工業稲羽工場で開催します。受講料はテキスト、資料代とともに1人1,000円です。

#### □技能士手帳が発行されます□

岐阜県技能検定協会は51年度技能検定合格者に対して「技能士手帳」を作成発行します。購入希望者は当工業組合へ至急申し込んで下さい。申し込みにあたっては組合にある「技能士手帳申込書」に記入していただきますが、その場合、資格証明書の写しと顔写真（タテ4センチ、ヨコ3センチ）を添えて下さい。代金は1冊500円です。

なお、職業訓練指導員免許取得者も同様に技能士手帳を作成発行いたしますので、検定合格者と同様に申し込んで下さい。

### 岐阜県のプラスチック 1977 2月号

昭和52年2月5日印刷

昭和52年2月6日発行

発行 岐阜市六条1337(岐阜産業会館内)

電話 (0582) 72-7173

### 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松 幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話 (0582) 47-7231

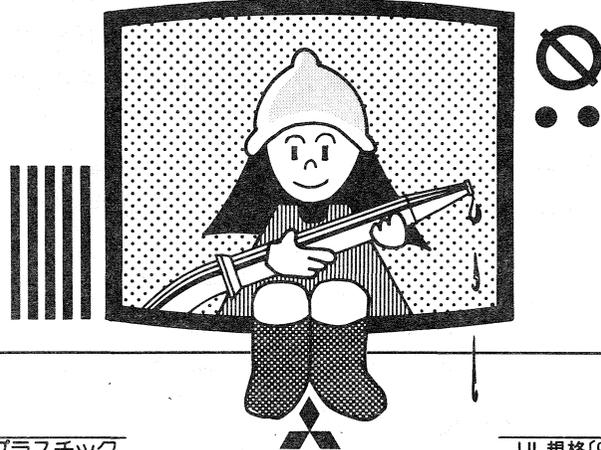
中部パブリシティセンター

# 山田化成株式会社

取締役社長 山田 正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号  
TEL (03) 256-7861(代)  
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)  
TEL (052) 961-6591(代)

# 自己消火性のタフレックス®VBは UL規格認定の難燃性樹脂です。



燃えにくい、安全なプラスチック。

タフレックス®VBは、すぐれた自己消火性とバランスのとれた物性を兼ねそなえた難燃性樹脂です。

三菱モンサント化成株式会社

本社・東京都千代田区丸の内2-5-2 千100 三菱ビル 東京 03(283)4495  
名古屋支店・愛知県名古屋市中村区広井町3-88  
(大名古屋ビル) 千450 ☎(052)561-9711(代表)

UL規格(94V-0(t=1/16"))認定

タフレックス®VB

File No. E-49095

## 三井石油化学の New Polymers

- FR-P.P 特殊強化ポリプロピレン
- FR-P.M.T 特殊強化ポリエステル
- アドマ- 接着性ポリオレフィン樹脂
- タフマ- 樹脂改質材
- T.P.X メチルペンテン樹脂
- ビューロン エチレン系軟質樹脂



## 三井石油化学工業株式会社

### 名古屋営業所

千 460 名古屋市中区丸の内1丁目17番19号(長銀ビル)

電話 (022) 211-3951 代表



# 始業時で勝負を決める PLASTAR TMシリーズ

毎朝成形機の運転開始の時、前日と同じ条件・設定にもかかわらず、最初は安定した成形品が出来ない。こんな事で御困りの方は、是非プラスターTMシリーズを御使用下さい。

抜群の再現性をもって皆様に奉仕します。

★プラスターTMの特長

①安定成形 ②最適成形 ③高速成形 ④ノンストップ成形 ⑤安全成形

## BSK 東洋機械金属株式会社

本社・工場 明石市二見町福里 ☎07894(2)2345(代)  
 名古屋営業所 名古屋市中村区則武1丁目2番1号(兼重ビル) ☎052(452)1066(代)  
 岐阜出張所 岐阜市光町1丁目2番地 ☎0582(33)4722  
 信州出張所 松本市大字筑摩井川城4578の1 ☎0263(25)3182  
 営業所 大阪・東京  
 出張所 北関東・京浜・多摩・埼玉・広島・奈良・三島・北陸・千葉・群馬・湘南

◆其他営業種目

ダイカストマシン・発泡スチロール成形機・ラバスター・搬送機器・鋳鍛造品

# 三井ノブレン ビニクロン ライタック-A トポレックス



## 三井東圧化学株式会社

本社 東京都千代田区霞が関3-2-5

名古屋支店 名古屋市中区錦3-23-31

(栄町ビル)

TEL (052) 961-3311

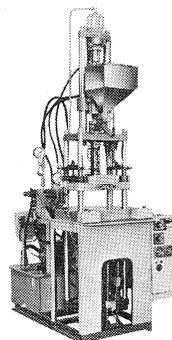
# さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量 5グラム (1/8オンス) より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用命下さい。

## — 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。  
 ——成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー——

## 株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町32番地	TEL(03) 972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482) 51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市北区楠町味鏡政所28番地	TEL(052) 901-5861番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代)	八王子出張所 TEL(0426) 51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番	小倉出張所 TEL(093) 471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番	城南出張所 TEL(03) 776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785番	沼津出張所 TEL(0559) 22-9610番

# 日精はお応えします。

## コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかねばなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

**NISSEI**  

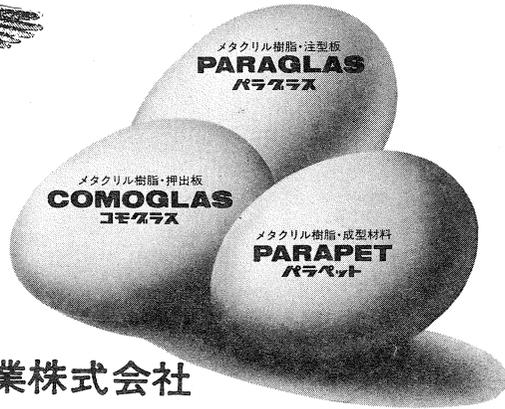
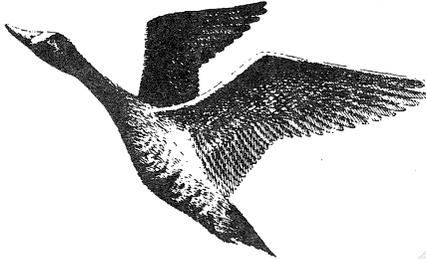

1歩進んだ射出成形機をおとどける

**日精樹脂工業株式会社**

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代)〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)  
 岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎(0582)72-5952

# 創造へのはばたき。

あらゆる可能性を語りかけるすばらしい素材



協和ガス化学工業株式会社

本社／東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03) 271-3001  
名古屋営業所／名古屋市中区錦3-11-23 三栄ビル ☎(052)951-6396



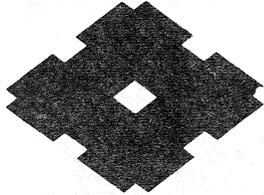
## 伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 化学物産部合成樹脂課

名古屋市中村区笹島町1丁目223番地 (名鉄バスターミナルビル)

電話 名古屋 (052) 583-(2481~2486)

— 住友化学の石油化学製品 —



塩化ビニル樹脂	ポリスチレン
EVA-VCコポリマー	メタクリル樹脂
ポリエチレン	メタクリルシート
EVA樹脂	ABS樹脂
高密度ポリエチレン	合成ゴムEPDM
ポリプロピレン	合成ゴムSBR

# 住友化学工業株式会社

名古屋営業所

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号  
(興銀ビル)

電話 (052) 2 0 1 - 7 5 7 1

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

**JSR NF95**  
**JSR NC100**

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL.(03)541-4111・名古屋支店/TEL.(052)571-1231

# 騒音防止板“L/LM-S” 騒音対策コンサルタント

電話一本で貴社の悩みを解決します  
防音工事全搬のご相談に応じます

## 徳山ポリプロ

## 徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム

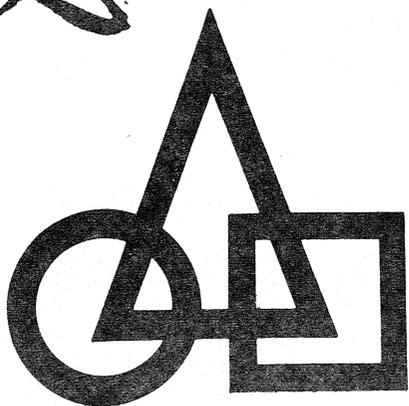


# 徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区広小路西通り3丁目4番地(新名古屋ビル東館5階)  
電話(052)581-1304代

# 出光の石油化学製品



### ◎取扱品目

ポリスチレン  
高圧ポリエチレン  
中低圧ポリエチレン  
ポリプロピレン  
ABS樹脂  
不飽和ポリエステル  
カルブ®  
ポリカーボネート

## 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

東京営業所 東京都中央区日本橋1-7-17(日本橋東海ビル) 〒103 ☎ 03-272-8331

名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

大阪営業所 大阪市北区小松原町27(富国生命ビル) 〒530 ☎ 06-312-8841

福岡営業所 福岡市中央区大名2-8-26 〒810 ☎ 092-721-6617



## 生きてる素材。 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト**®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット**®

ABS樹脂

**ダイヤペット**® **ABS**

**三菱レイヨン**  
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



## ニーズに**適確に** こたえることで 未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

**信越ポリマー**

名古屋市中村区広小路西通3-4(新名ビル東館) ☎052(581)4231

皆様に技術と信頼で奉仕する

プラスチック機械の総合メーカー

 (株)日本製鋼所

日鋼射出成形機を始め  
あらゆるプラスチック  
加工機械について御相  
談下さい。

(株)日本製鋼所 名古屋営業所

名古屋市東区布池町32 TEL (935)9471・(935)9481(日鋼サービス)

〈総代理店〉

三井物産(株)名古屋支店(機械部) 名古屋市中村区笹島町豊田ビル TEL 584-2340

〈代理店〉

大和プラスチック機械(株)名古屋営業所 名古屋市中村区則武町2-7(ノリタケビル) TEL 452-4021

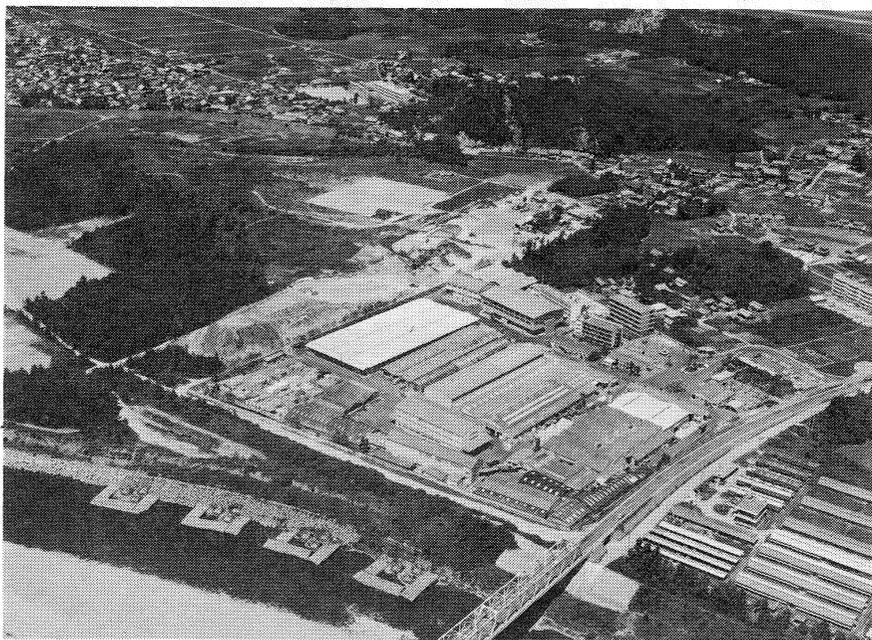
柏木実業株式会社名古屋営業所 名古屋市東区高岳町1-11(司ビル) TEL 931-6044

日鋼商事(株)名古屋営業所 名古屋市東区布池町32 TEL 935-9361

すぐれた品質と広範囲なシェアをもつ!!



**リス**のプラスチック



非常に多くの適用範囲でしかも経済的に使用できる商品は他にはない。リスマークは岐阜プラスチック工業(株)が成形しているプラスチック製品につけられたブランドネームです。全国における販売シェアは常にトップクラスにランクされています。家庭用品から大形コンテナまで、そのすぐれた品質・機能・デザインは全国の市場で高く評価されています。

## 岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)  
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)  
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮